

人の心を魅了する

「美しさ」



武芸川地域

里山と武儀川の恵みにあふれる武芸川地域。春には地域で守り続ける花々が咲き誇り、その美しさに多くの人が魅せられます。



つるむらさき

古くは薬草として使われた、栄養豊富な野菜。町民が地域に根付く文化や風習をヒントにして、つるむらさきを粉末にして練りこんだ「つるむらさきうどん」を開発しました。町民の知恵と力と愛情が生み出した自慢の特産品です。



株杉

「蕪山(かぶらやま)」への遊歩道のふもとに70株以上も群生する、推定400～500年といわれる全国的にも珍しい杉。朽ちゆく古木を苗床として、一本の幹から新たな芽が出て複数に枝分かれし、多いものでは10本以上の細い木が伸びています。



板取地域

自然の中に息づく生命の

「輝き」



地域一帯に森林が広がる緑豊かな板取地域。雄大な四季折々の景色の中に、生命の輝きを感じることができます。



一色カタクリの里

「スプリング・エフェメラル(春の妖精)」とも呼ばれるカタクリ。保木山が群生地となっており、地域住民によって整備された遊歩道を散策しながら斜面に咲くカタクリを眺めることができます。

名もなき池



フランスの画家クロード・モネの描いた作品「睡蓮」に似ていることから、「モネの池」と呼ばれるようになり、全国から注目を集める池となりました。

寺尾ヶ原千本桜公園

標高220mの寺尾峠と寺尾地区を結ぶ県道沿いにある桜の名所。2kmにわたって見事な「桜のトンネル」をつくります。

花馬まつり



武芸八幡宮の春の大祭として行われ、和紙と竹で造った桜花を背中に飾った馬に、氏子や観光客が一斉に詰め寄り、花を奪い合います。奪った花を円形にして屋根に上げておくと、落雷防止、家運隆盛にご利益があると伝えられています。



川浦溪谷

全長約7kmに及ぶ断崖の溪谷。「飛騨美濃紅葉三十三選」にも選出された紅葉の名所で、色鮮やかな木々とエメラルドグリーンの水面のコントラストが美しい絶景地です。



あじさい

毎年6～7月には、「日本の道百選」に選ばれた「あじさいロード」や板取21世紀の森公園に、約10万本の色鮮やかなあじさいが咲き乱れます。